

S4
?t4/7/1

1 PN="JP 75005751"

4/7/1

DIALOG(R) File 351: Derwent WPI
(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

000879640

WPI Acc No: 1972-39628T/197225

Biaxially drawn polyamide film - having improved shrink characteristic and dimensional stability

Patent Assignee: TOYO BOSEKI KK (TOYM); TOYO SPINNING CO LTD (TOYM)
Number of Countries: 005 Number of Patents: 007

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
DE 2160118	A					
FR 2116530	A					197225 B
GB 1321167	A					197244
JP 75005751	B	19750306				197325
JP 75005752	B	19750306				197514
DE 2160118	B	19770303				197514
US 4133802	A	19790109				197710
						197904

Priority Applications (No Type Date): JP 70107844 A 19701204; JP 70107843 A 19701204

Abstract (Basic): DE 2160118 A

An undrawn polyamide film comprising at least 70 mol % repeat units derived from m-xylylene diamine or a mixture of m and p-xylylene diamine contg. is not >30 mol % p-xylylene diamine and an aliphatic alpha, omega - 6-10C dicarboxylic acid is biaxially drawn, either simultaneously or consecutively. If drawn simultaneously, this is effected according to the inequality $-10 W + 120 + 12 \log \text{Epsilon} / 1000 > T \geq -6 W + 80$ (I), and if drawn stepwise or consecutively, according to the inequality $-10 W + 130 + 7 \log \text{Epsilon} / 1000 > T \geq -6 W + 80$ (II) where w is the humidity content of the undrawn film in wt %, Epsilon is the rate of drawing in %/min. and T is the drawing temp. in degrees C. Products have outstanding shrink characteristics, dimensional stability mech. props. transparency and impermeability to gases.

Derwent Class: A23; A32; A94

International Patent Class (Additional): B29D-007/24; C08G-041/02; C08G-069/46; C08J-005/18; C08L-077/06

?

優先権主張
出願国：ドイツ
連邦共和国
出願日：1973
年12月7日
出願番号：
07245141.3



特 許 願 (B)

昭和48年11月23日

①日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 50-5751

③公開日 昭50.(1975)1.21

②特願昭 48-130807

②出願日 昭48.(1973)11.22

審査請求 未請求 (全4頁)

庁内整理番号

②日本分類

6727 31

53 A320.1

6461 31

53 A22

6461 31

53 A206

特許庁長官 京 重 英 殿

1. 発明の名称

自動心出しクラッチ解放軸受

2. 発明者の住所氏名

(住所) ドイツ連邦共和国 「フ」 シュワインフルト
ハラルド・ハムバーガー・シュトラッセ 60
(氏名) クラウス レーンネ

3. 特許出願人の住所氏名 (国籍) オランダ国

(住所) オランダ国 アムステルダム オーベルトーム
141-143

(名称) エス カール エフ インダストリアル
トレーディング アンド プロパティメント
カンパニー ビー ヴィ

4. 代理人 代役者 ウエルナー グランツ

郵便番号 105 東京都港区芝罘本町26 第二文芸ビル
電話番号 (501) 8751

4324 弁護士 福田 信 行
(14・1名)

5. 添附書類目録

- (1) 明 細 書 1 通
- (2) 図 面 1 通
- (3) 要 旨 状 及び 訳文 1 通
- (4) 優先権主張証明書 (後日補充) 1 通

明 細 書

1. 発明の名称

自動心出しクラッチ解放軸受

2. 特許請求の範囲

その穴の中にある弾性リングまたは同様のものによつて穴の中に配置された軸に対して角運動するように支えられ、解放部品の回転軌道輪へのかみ合いのために球状の前面を有する自動心出しクラッチ解放軸受に於て、弾性リングが移動部品の力作用の範囲内に配置され、前面が球面10として作られ、その中心Mは弾性リングの半径方向面と軸1の中心軸とととの交点にあり、この交点は解放軸受2の角運動の旋回中心Mを成していることを特徴とする自動心出しクラッチ解放軸受。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、その穴の中にある弾性リングまたは同様のものによつて穴の中に配置された軸に対して角運動するよう支えられ、解放部品

の回転軌道輪へのかみ合いのために球状の前面を有する自動心出しクラッチ解放軸受に関するものである。

クラッチケーシングまたは歯車箱に固定された案内部と固定した案内部に軸方向に移動するように配設された移動部とから成る、とくに自動車用のクラッチの解放軸受(ドイツ出願公告1929184)は公知である。ここでは移動部の穴の径が案内部の径よりも大きく作られている。移動部は挿入された可変手段を介して固定した案内部に支えられている。この文献では、スプリングは全くはぶいてよいとも述べられている。可変手段は内輪のみぞの中に直接にさし込むことができる。

この技術水準から出発してこの発明の対象は、軸のずれが完全に避けられ、追加の力またはモーメントが軸受に伝えられないようにクラッチ解放軸受をクラッチ箱の解放部品に対して心出しするという課題を基礎にしている。

この課題はこの発明によれば、クラッチ解放

軸受の穴の中にある弾性リングが移動部品の力作用の範囲内に配置され、クラッチ解放軸受の前面が球帯として作られ、その中心は弾性リングの半径方向面と軸の中心軸との交点にあり、この交点が解放軸受の角運動の旋回中心を成していることによつて解決される。これによつて、解放機構が軸またはガイドブシュ上に直接に支えられ、移動機構と固定軌道輪の間のすべり運動から生じる付加力がクラッチ圧縮ばねとして作られた解放部品を介して伝えられないことが、有利に達成される。

この発明のもう一つの有利な構成では、解放部品はクラッチ解放軸受の球帯として作られた前面に対して円錐形に曲げられている。解放部品は凹面に作ることもできる。

さらにこの発明によれば、球帯に接する偏心輪が支持ばねによつて解放部品に支えられ、これと接していることが有利である。

この発明のその他の利点、特徴および適用可能性は、以下で説明する図から明かになる。

第2図はこの発明のもう一つの実施例を示し、ここでは内輪3の前面の球帯10が偏心輪14の球帯状の面と組合わされている。この球帯状の面の半径がR1で表わされている。偏心輪14は支持ばね15によつてその位置に保持され、圧縮ばね11がその前面を押している。

第1図ではクラッチばね11の力作用点17が軸またはガイドブシュ1の中心軸2-Fに投影されている。ここで交点Dが生じる。クラッチの旋回軸とクラッチ圧縮ばね11の間にずれがあると、回転軌道輪3とクラッチ圧縮ばね11の間および固定軌道輪3と軸またはガイドブシュ1の間にすべり運動が生じる。このすべり運動はM-Dの距離を大きくすることによつて減らすことができる。

第3図はこの発明のもう一つの実施例を示す。ガイドブシュまたは軸と第1図の弾性リングは、ここでははくくことができる。クラッチ軸受2はここではレバーまたは内板18に角運動するように支持されている。力作用点はSで表わされ

第1図は軸1またはガイドブシュ上にあるクラッチ解放軸受2を示す。クラッチ解放軸受はこの例ではアンギュラ玉軸受として作られ、内輪3、転動体4および外輪5から成る。すべりブシュとして作られた外輪5の穴6の中にみぞ7があり、これが弾性手段8を受ける役目をする。この実施例では弾性手段8はそれ自体公知の丸コードリングである。剛性のリングをせなえることもできる。図示していない移動部品は9でクラッチ解放軸受のすべりブシュとして作られた外輪5に作用する。力作用点9と丸コードリング8はC-Bで表わした半径方向の平面の中にある。ガイドブシュまたは軸1の中心軸2-Fはこの平面とMで交わる。この点Mは内輪3の前面を成す球帯10の半径Rの中心である。クラッチ圧縮ばね11として作られクラッチと連結している解放部品は球帯10で支えられる。この実施例ではクラッチ圧縮ばね11はその端12が曲げられている。端12は平らに作られるかまたは球帯10の輪郭に合わせてある。

力作用点Sは回転軌道輪3の球帯10の中心にもなっている。部品を明らかにするため第1図の引用番号が書き込まれている。

この発明の実施態様を要約すれば次の通りである。

- (1) 圧縮ばね11として作られている解放部品が球帯として作られた前面に対して円錐形に曲げであることを特徴とする特許請求の範囲に記載の自動心出しクラッチ解放軸受。
- (2) 圧縮ばね11として作られている解放部品が球帯として作られた前面に対して凹形に作られていることを特徴とする前記(1)に記載の自動心出しクラッチ解放軸受。
- (3) 支持ばね15によつて解放部品に支えられこれと接している球帯にみえる偏心輪14を特徴とする前記(1)、(2)に記載の自動心出しクラッチ解放軸受。
- (4) 回転しない軌道輪3がレバーまたは内板18に角運動するように支えられ、レバー18の力作用点Sが回転軌道輪3の球帯10として作ら

第1図

れた前面の中心を成していることを特徴とする前記(1)~(3)に記載のクラッチ解放軸受。

“ 図面の簡単な説明

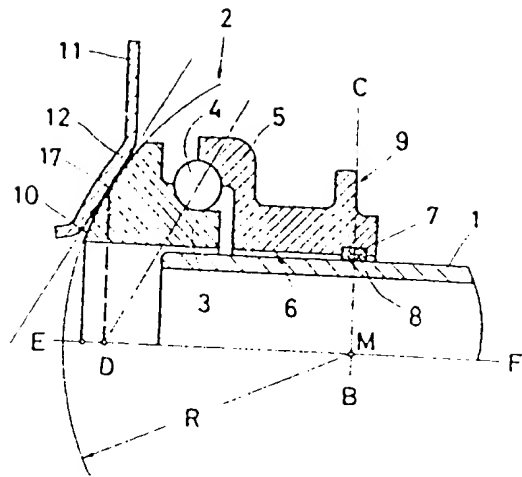
第1図はこの発明によるクラッチ解放軸受の断面図、第2図はこの発明のもう一つの実施例でのクラッチ解放軸受の前面と解放部品との組合わせ、第3図はこの発明のもう一つの実施例を示す。

なお、図において、1は軸、2は解放軸受、3、4は軌道輪、5はリング、7は力作用の転回、10は球部、11は正転ばね、14は偏心輪、15は支持ばね、16は接触、18はレバーまたは片板である。

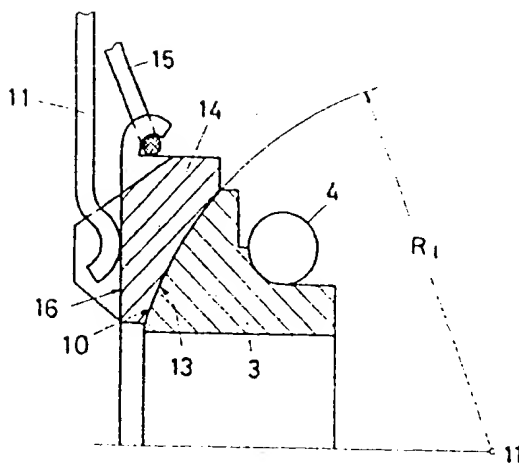
発明者 人 エス カール エフ インダストリアル
ドレイトイング アンド デベロップ
メント カンパニー ビー グイ

同 代理人 橋 田 信 行

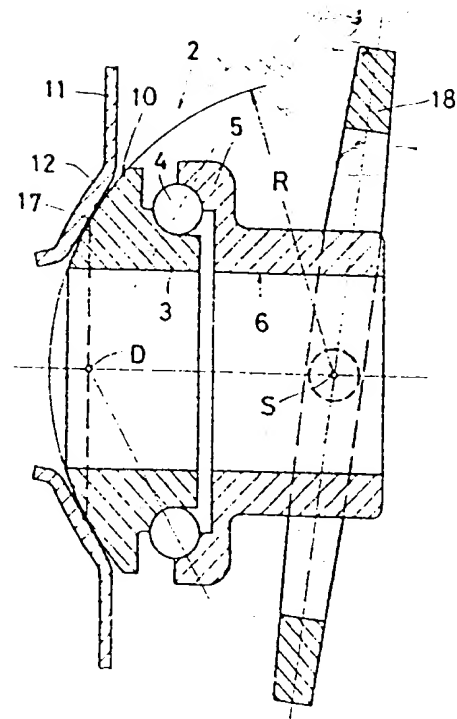
同 代理人 橋 田 武 進



第2図



第3図



昭和49年5月13日

特許庁長官 斉藤英雄 殿

1. 事件の表示

特 願 昭 48 - 130807

2. 名 称

自動心出しクラッチ解放装置

3. 補正をする者

事件との関係

出願人

エス カール エフ イン
ダストリアル トレイディ
ング アンド デベロップ
メント カンパニー ビー
グイ

4. 代 理 人

特許番号105 東京都港区芝罘26 第二文芸ビル
電話番号(501)8751(代)

4324 弁護士 福田 信 行
(1名)

5. 補正命令の日付

昭和49年 5 月 4 日

6. 補正により増加する発明の数

7. 補 正 の 対 象

願書の全文 の名称 の欄

明細書の全文 特許実用新案登録請求の範囲

発明考案の詳細の説明 図面の簡単な説明の欄

○ 図面

8. 補 正 の 内 容

別紙の通称の抄写を提出(内容に変更なし)

(1) 発 明 者

(2) 特 許 出 願 人

(3) 代 理 人

特許番号 105 東京都港区芝罘26 第二文芸ビル
電話番号 (501) 8751

6164 弁護士 福田 武 通

手続補正書 (方式)

昭和49年 1 月 18 日

特許庁長官 斉藤英雄 殿

1. 事件の表示

特 願 昭 48 - 130807

2. 発明の名称

自動心出しクラッチ解放装置

3. 補正をする物件名 ○ 優先権主張証明書

願 書 委任状 明細書 ○ 図 面

4. 補正をする者

事件との関係 出願人

エス カール エフ インダストリアル
トレイディング アンド デベロップメント
カンパニー ビー グイ

5. 代 理 人

〒105 東京都港区芝罘26 第二文芸ビル
電話 (501) 8751 (代)

4324 弁護士 福田 信 行

(122・1名)

6. 補正命令の日付

昭和 年 月 日

7. 補正の内容

- (1) 図面中、才2図を別紙の通り補正する。
- (2) 優先権主張証明書及び訳文を別紙の通り補充する。

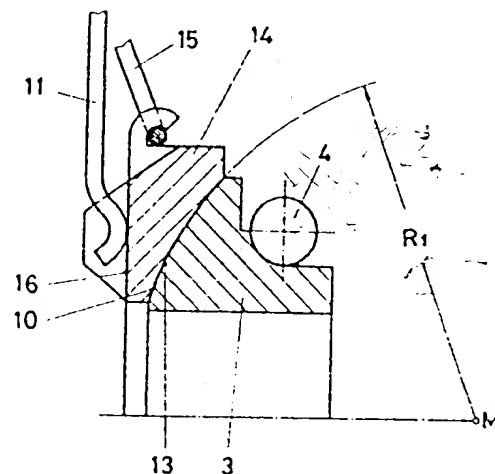


FIG. 2